

日本地衣学会

No.133

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告	495
	第14回観察会（群馬県みなかみ町，奥利根水源の森；2015年9月）報告／ 綿貫攻・安斉唯夫	495

会務報告 *Report of the JSL Activities*

第14回観察会（群馬県みなかみ町，奥利根水源の森；2015年9月）報告 *Report of the 14th JSL Field Meeting at Minakami-machi, Gunma-ken, central Japan, September 2015 / by WATANUKI Osamu & ANZAI Tadao*

>>>>> 綿貫 攻・安斉 唯夫（地域活性化委員会関東）

群馬県利根郡みなかみ町奥利根水源の森において地衣学会主催第14回観察会が開催されましたので、報告いたします。

* * *

開催日：2015年9月19日（土）～20日（日）

開催場所：群馬県利根郡みなかみ町藤原

講師：原田浩氏（千葉県立中央博物館）

参加者：20名（講師，日帰り参加者含む）

* * *

地衣学会主催の第14回観察会を、群馬県みなかみ町にある奥利根水源の森において、大勢の参加者を得て開催することができました。

奥利根水源の森は武尊山（2158m）の北面にあたり、講師である原田先生がBE-PAL（2005，No. 290）で紹介された場所です。

初日はJR上越線水上駅で集合し、参加者の車に分乗して約40分、奥利根水源の森の入り口に当たるキャンプ場（標高約1350m）に到着しました。ここで1日目だ



図1. キャンプ場に到着し観察開始。



図2. *Lobaria spathulata* ヘラガタカブトゴケ.



図3. *Usnea diffracta* ヨコワサルオガセ.



図4. *Multiclavula mucida* キリタケ.



図5. 2日目の観察風景.

け参加の利根沼田自然を愛する会に所属する現地参加者2名と合流し、観察を始めました(図1)。

キャンプ場を出るとすぐにブナ林が広がります。左の俣沢沿いの樹幹に生育するバンダイキノリ、ナガサルオガセ、ヘリトリツメゴケ、ナメラウラムゴケなどを観察した後、マキハの沢沿いの広場へ、ブナの樹幹にはカブトゴケ属(図2)、アワビゴケ属などの葉状地衣やサルオガセ属(図3)などの樹状地衣が目立ちます。倒木の枝や落枝にはコフキオニノヒゲ、バンダイキノリ、モンシロゴケモドキなどが着生していまし

た。また、アンチゴケ、サボテンアンチゴケ、アンチゴケモドキ(現地では和名をコアンチゴケとしていたもの)を比較観察することもできました。

続いて「森林浴のみち」沿いで観察しました。ブナの樹幹にはクスレウチキウメノキゴケ、チチレカブトゴケモドキ、コナクロボシゴケ、フォーリザクロゴケ、サビイボゴケなどが着生し、遊歩道の石の上にはハラゴケや担子地衣のキリタケも見ることができました。マキハの沢にかかる橋が壊れているので同じ道を広場まで戻り「ささやきのみち」へ、ウラグロエビラゴケ、



図6. Lichen on Lichen.

モミジツメゴケ、チチレツメゴケなどを観察し、マキハの沢ではサワイボゴケを採集しました。

翌日は日帰り参加者と宿で合流したのち再び水源の森へ。管理道路脇の倒木には初日にもみたキリタケが群生していました(図4)。2日目の観察地はヒメカイウ園駐車場(標高約 1460m)から田代湿原(標高約 1570 m)までです。ブナ林のなかの登山道をセンシゴケ、トゲヒメゲジゲシゴケ、ハクフソゴケ、アツバヨロイゴケ、クロアカゴケなどを観察しながら登りました(図5)。昼食後、湿原を周回する遊歩道へ。入り口付近の倒木にはアワビゴケ属地衣上にセンシゴケが生育していました(図6)。

下山後、キャンプ場で散会、水上駅組と上毛高原駅組に分かれ帰路につきました(図7)。

奥利根水源の森ではカプトゴケ類などの大形葉状地

衣やサルオガセ類などが多く見られます。講師の原田先生によると、以前はこのような場所がたくさんあったようですが、最近では本当に少なくなっているそうです。ここは北側も南側も山に囲まれた谷にあたるため、大気汚染物質による影響が少ないのでしょうか？今後もこのすばらしい景観を残さなければならないと思いました。

今回の観察地は、今までも観察会が計画されましたが、台風の影響で中止となったり宿泊場所が確保できずに断念したいわくつきの場所でした。三度目の正直で開催にこぎ着け、好天にも恵まれ、実りある観察会になったと思います。

今回の観察会で観察された地衣類については、事前の下見および事後の追加採集の結果もふまえ、標本に基づいた報告をする予定です。



図7. 集合写真.

最後に、本観察会にあたり採集許可をいただきました
関東森林管理局利根沼田森林管理署及び群馬県利根
沼田環境森林事務所に感謝申し上げます。

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 133, pp. 495-498: eds. Kinoshita K., Komine M. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 31 July 2016.

日本地衣学会ニュースレター 133号

発行日：2016年 7月 31日

編集：木下 薫・小峰 正史・原田 浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8588 神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬化学研究室

©2016 日本地衣学会 (© 2016 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複製等は固くお断りいたします。